

【別紙様式 I】 令和7年度 学校評価報告書

学校名 厚木市立睦合東中 学校

厚木市教育委員会の基本目標

- 1 自ら学び、鍛え、未来を拓き、夢や可能性に挑み続ける力の育成【挑戦】
- 2 自他の命や豊かな感性を大切に、多様性を認めながら共に生きていく力の育成【共生】
- 3 変化する社会に自ら進んで関わり、人々と協働してより良い社会を創る力の育成【創造】

校長名 八木 義之

学校教育目標	学校経営の方針
自立…安心・安全な環境の中で、学ぶ意欲、豊かな感性、たくましい心と体を身に付けた生徒を育てる	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 安心・安全な環境 ⇒ 安心・安全に学校生活を送るための物的・心的環境の整備をする</li> <li>○ 学ぶ意欲 ⇒ 「確かな学力」を身に付けることができる学ぶ意欲を育む</li> <li>○ 豊かな感性 ⇒ 自他を尊重し、多様性を持つ他者と協働しながら、新たな価値を創造できる豊かな感性を磨く</li> <li>○ たくましい心と体 ⇒ 困難に打ち勝ち、最後までやり抜く強い心とそれを支える健やかな体を育む</li> </ul>

今年度の重点目標

- |   |  |
|---|--|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1 安心・安全な環境づくりの充実</li> <li>2 学ぶ意欲を育むための指導方法の工夫・改善</li> <li>3 人権感覚を磨く指導の徹底</li> <li>4 豊かな心の育成</li> <li>5 最後まで粘り強く取り組む指導・支援の充実</li> <li>6 生徒指導・支援の徹底</li> </ol> | <ol style="list-style-type: none"> <li>7 共生社会の実現を目指すインクルーシブ教育の推進</li> <li>8 地域との連携</li> <li>9 ホームページや学校だより等による情報発信の充実</li> </ol> |
|---|--|

評価項目・指標等	基本目標との関連	具体的な取組	成果と課題	次年度への具体的な改善策
わかる・できる授業、主体的に取り組める授業の工夫	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新学習指導要領に則した授業・評価についての研修</li> <li>・GIGAスクール端末や電子黒板の活用</li> <li>・生徒授業アンケートの実施</li> <li>・数学・英語の少人数授業、学カステップアップ支援員による個別支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領に則した授業・評価について、各教科で実践し、学期ごとの振り返りを改善につなげていくことができた。</li> <li>・GIGAスクール端末、電子黒板等を授業の中で効果的に使っていくには、綿密に授業計画を立てる必要がある。担当により差はあるものの、方法を工夫し活用機会を増やしている。</li> <li>・年2回の授業アンケートを、各教員が授業改善につなげることができた。</li> <li>・少人数授業、支援員による個別支援で、授業内での「わかった」「できた」を実感させることができたものの基礎学力の定着には時間がかかりそうである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価についての研修は、引き続き行っていく。</li> <li>・少人数授業では、クラス分けなど十分に検討し、より効果的に授業が進められるようにしていく。</li> <li>・基礎学力の定着に欠かせない家庭学習の習慣づけを、教科での指導はもちろんのこと、保護者への啓発も機会あるごとに行っていく。</li> <li>・授業アンケートの結果を教科で検討し、授業の改善につなげていく。</li> </ul>
学級の集団活動を通じた、生徒が所属感を持てるような学級経営	2・3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソーシャルスキルアッププログラムの継続的な実施</li> <li>・朝・帰りの会の充実</li> <li>・学級担任による生活ノートの確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソーシャルスキルアッププログラムについては、短時間でできるものを月1回、年間を通して実施した。</li> <li>・学級経営に関しては、経験の浅い先生方もポイントをおさえて指導ができるように職員会議等で確認をしながら進めることができた。</li> <li>・生活ノートの確認は、生徒指導・支援において大きな意義があり、担任の負担も考慮しながら継続していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソーシャルスキルアッププログラムについては、今年度の形は続けつつ、学活の1単位時間を使った指導も増やしていく。</li> <li>・学級経営は、職員会議でミニ研修のような形で資料提示をしたりアイデアを出し合ったりしながら研修を重ねていく。</li> </ul>

リーダーの育成や生徒の主体性を引き出すような活動の工夫	2・3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の実行委員会を中心とした行事運営</li> <li>・生徒会本部、中央委員会を核とした生徒会活動</li> <li>・生徒を主体としたISS活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育大会は、縦割り活動や全校・学年練習を活発に行うことができた。</li> <li>・文化発表会では、学級の合唱練習も生徒のリーダー中心に行うことができた。</li> <li>・生徒会活動では、特に中央委員会で建設的な意見が多く出され、新たな取組なども始まっている。</li> <li>・いじめ・暴力ゼロに向けた運動は、生徒会主導の活動として定着している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年間を見通したリーダーの育成、フォロワーの育成が図れるように再度見直しをしていく。</li> <li>・学級でも活発な話し合いができるように、リーダーの事前指導や担任の関わり方などを充実させていく。</li> </ul>
生徒の規範意識の醸成	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度始め、学期始めにおけるきまりや授業規律等の指導</li> <li>・生活場面における適切な指導</li> <li>・問題行動の早期発見・指導</li> <li>・教職員の指導体制の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校のきまりについては概ね守られているが、あいさつや時間遵守など少しルーズになってきている面もある。職員側も意識をしていく必要があるが、同時に生徒に自分自身の生活を振り返らせていくことも必要だと考える。</li> <li>・服装や髪型の指導に関しては、近年の状況に合わせて変化した部分もあるので、教員間で再度ルールを確認し、指導の基準を合わせていく必要がある。</li> <li>・教員間の情報共有を密に行い、正確な情報で指導ができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きまりやマナー面については、どの職員も同じようにその場で適切に指導できるようにしていく。</li> <li>・生徒会が進めている、あいさつ活動を活発化させていく。</li> <li>・年度途中でルールの変更があった場合は、生活ノートに記載させるなど、生徒に正しく伝わるようにする。</li> </ul>
部活動の取組	1・2・3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明確な目標の下での適切な指導</li> <li>・部長会を中心にした、生徒を主体とした取組の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ、返事、礼儀、マナー、時間遵守、言葉遣い等については、部活動を通じてしっかり身につけさせるべく継続的に指導をしている。</li> <li>・上記の内容も含め、部活動の活性化を図れるよう、計画的に部長会でも話し合いをさせてきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつでもどのような場面でも、あいさつ、礼儀等の基本的な行動がしっかりできるように指導をしていく。</li> <li>・限られた時間の中で、目標をもって効率よく活動が進められるように指導をしていく。</li> <li>・下校時間の厳守を部長会中心にすすめていく。</li> </ul>

今年度の学校関係者評価委員会からの意見

地域住民として、頼りになる睦合東中学校の生徒たちとして認識している。有事があったときに地域で一番活躍ができるのは中学生だと思っている。評価する基準としてはあくまで、学校側の姿勢でなく、地域や社会の状況がそうさせていると考える。社会の風評に惑わされることなく、自信をもって教育活動に臨んでほしい。生徒たちの教育に、日夜、先生方の頑張りに感謝している。地域の方にできることが何かないか、先生方からも発信をしてほしい。

今年度の学校経営のまとめ ・ 次年度への改善の方針

年間の活動を通して、生徒が生き生きと活動する場面が増えてきている。しかし、多くの時間を要して様々な活動をしているのも事実である。改善を図るためにも、活動後には活動の意義や指導の方策等を再度見直し内容の精選をする必要がある。また、会議に時間をかけるのではなく、早めに資料を提示ししっかりと読み込むことで動きを確認する習慣を付け、教員が研修や研究に使える時間を捻出する。